

公益財団法人

日本教育公務員弘済会

福井支部のしおり



鯖江市東陽中学校



福井県立勝山高等学校



福井市足羽小学校

Contents

年頭にあたり

令和7年度 福井支部事業報告

教育文化活動助成活動報告

「学校応援キャンペーン」学校賞 当選校の発表

令和8年度 福井支部事業計画

ドリーム・スクール・キャラバン

共済事業のご案内

映画観賞券プレゼントキャンペーン

令和8年度貸与奨学生募集のご案内

2026.1発行
vol
43

年頭にあたり

公益財団法人 日本教育公務員弘済会福井支部
支部長 藤田 清憲



新年明けましておめでとうございます。
今年の干支「午(馬)」を検索すると、力強く駆け抜ける馬のように、「躍動感」「力強さ」などの象徴から、物事が順調に進む、また幸運が駆け込んでくるなど、活力や前進の年と言われているそうです。新しい年のスタートにあたり「挑戦」「目標」「飛躍」などに向けポジティブに取り組まれるのはいかがでしょうか。

さて、日本教育公務員弘済会（日教弘）の会員ならびに県内教育関係の皆様には、日ごろより日教弘福井支部の諸事業の推進にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。当支部では、教育に携わる仲間たちの「たすけあいの輪」を広げるとい創立の理念のもと、今日の厳しい教育環境の中、明日を担う子どもたちの健やかな成長のため頑張っている教職員の皆さんを応援すべく、福井県教育の振興に貢献する事業の普及・拡大に努めています。

本年度の教育振興事業は下記のように、①奨学事業、②教育研究助成事業、③教育文化事業において、多くの学校・教育研究団体や教育研究大会関係者の皆様にご活用いただいたことは、日教弘の理念「最終受益者は子どもたち」に向けて多くの成果を収めることができたかと確信しています。

教弘保険にご加入いただいている会員の皆様への福祉事業では、各種祝金の給付事業、宿泊や人間ドック、映画鑑賞券贈呈等の補助事業でもたくさんの方にご利用いただいています。

今号に「映画鑑賞券贈呈(抽選)」のお知らせページがありますので、QRコードから是非とも応募されてはいかがでしょうか。

また、児童生徒による特色ある創造的な教育文化活動に対しての助成である教育文化活動助成の中間活動状況や、提携保険会社である「ジブラルタ生命」主催の「ドリーム・スクール・キャラバン バスケケットボール教室」も掲載させていただきました。各校の様子がおわかりいただけたと思いますのでご一読ください。

今後も、公益法人財団としての使命を果たすべく教育振興事業や福祉事業の一層の充実を図り、福井県の教育の振興・発展に尽力する所存です。

令和7年度 福井支部事業報告

教育振興事業

(令和8年1月5日現在)

★①奨学事業

・貸与奨学金	15名	13,250,000円
・給付奨学金	42名	3,360,000円
・大学給付奨学金	4名	5,760,000円

★②教育研究助成事業

・教育研究団体助成	14団体	1,800,000円
・教育研究大会助成	16大会	1,750,000円
・教育研修助成	56校	2,800,000円
・特別支援学校教育支援	6校	300,000円
・教育実践研究論文	4編	※3月発表予定

★③教育文化事業

・教育図書贈呈	小学校	180校	4,878,346円
・教育文化活動助成		96校	7,680,000円
・へき地複式学校支援		21校	950,000円
・教育文化・芸術・スポーツの振興		1大会	200,000円

★福祉事業・福祉関連事業に関しましては、次月号にてご報告いたします。

たすけあいの輪

日教弘(弘済会)は、学校・教職員、ジブラルタ生命との「たすけあいの輪」を広げ、「最終受益者は子どもたち」の理念のもと、教育振興の充実を図るとともに会員の皆様の生活に安心と潤いをお届けします。



公益財団法人日本教育公務員弘済会（略称：（公財）日教弘）の教育振興事業（奨学事業、研究助成事業、教育文化事業）及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

教育文化活動助成 活動報告

県下の伝統文化の保護・技能の継承、科学技術の発展、自然環境の保全、国際交流等の発展・向上を目的とし、特色ある創造的な教育文化活動に対して、今年度は、以下の96校に助成をさせていただきました。

福井市豊小学校



本校では、各学年で地域の伝統文化について調べ、その良さを伝える活動を行っています。2年生は町探検や地域の施設体験を通して身近な地域の学習をします。3年生は大豆を育てた後にみそづくりを行います。4年生は越前和紙・越前漆器・越前焼・越前打刃物などの歴史について調べ、うるしの里や越前和紙に行き見学や体験を行います。6年生はまちづくり協会の協力を得て、地域の歴史的施設調べた後フィールドワークに行きます。

福井市足羽小学校



今年度は、本校の「生活科」「総合的な学習の時間」において、足羽地区を軸とした活動を、各学年の実態に合わせて行っている。特に3年生は、ふるさとCM作りに取り組んでおり、実際に地域の様々な場所に足を運び、地域の物や人と触れあう中で、地域の魅力をたくさん発見することができた。今後は、発見した魅力をより多くの人達に知ってもらうために、ポスター作りに取り組む予定である。

福井市湊小学校



2年生は、校外学習でおもちゃをつくり、おもちゃランドを開き1年生を招待し交流した。3、6年生は、地域の方の説明をうけながら湊地区を探検し自慢できるお宝を発見した。また、地域のゲストティーチャーを招き、湊地区に関する質疑応答や湊の歴史や文化についての説明をいただいた。4年生は、車いすなど福祉体験学習を行った後、福井特別支援学校と交流活動を行った。学校行事や清掃活動では、充実した縦割り活動を行った。

福井市春山小学校

本校では、各学年の社会科や総合的な学習において、春山地区やふるさと福井に関する学習を積極的に行っている。今年度も各学年の児童が様々な施設に出かけ、ふるさとの歴史や文化に触れ、学びを深めてきた。11月には、4年生が「ふるさとの伝統工芸」を学ぶ。その一環として、タケフナフビレッジや越前和紙の里に出かけ、「越前打刃物」と「越前和紙」の歴史や制作工程、職人さんの思いなどについて学ぶ予定である。

福井市松本小学校

本年度は、「地域とつながる」ことを生活科・総合学習の軸に据え、各学年がテーマを設定し、公民館やお店に出かけてお話を聞いたり、地域の方を講師に招いて一緒に活動したりしている。

11月6日(木)の「松本フェスティバル」では、保護者、地域の方々、保・こども園のお友達を招待し、学びの足跡を掲示物にして見ていただいたり、学びの成果をステージや各ブースで発表したりして、地域とのつながりを深めていく。



福井市杜南小学校

地域活動の盛んな杜南地区では、子ども達はいつもイベントを楽しむ側であった。今年は、子ども達から地区のために何かしたいと、地区青年会や小中PTAと共に「杜南子どもまつり」を開催することになった。5・6年生の児童中心に計画をたて、「缶バッジ屋さん」に決定。当日、公民館の一室を借りて子ども達主体で運営した。PTAの焼きそばやフランクフルトの販売補助も行い、至る所で子ども達の活躍がみられた。次は、「至民マルシェ」でも出店を予定している。



福井市安居小学校



オンライン会議アプリケーションを使用し、他校との学習交流を行っている。交流の際にはイヤホンマイクを使用して、個人またはグループ単位での交流を行った。写真は他校のスーパーマーケット見学をオンラインでつないで一緒に見学している様子である。自校外との交流や見学は距離や時間、交通費の関係で困難な部分があったが、オンラインでつなぐことで、より容易になる。この環境を最大限生かし、児童の学びを広げていきたい。

福井市大安寺小学校



9月17日(水)、高崎健康福祉大学の井上瞳先生を講師とし、「今日の食事が明日の自分をつくる」と題して、授業をしていただきました。生徒たちは、生活時間を見直したり、自分が日頃食べている食事を振り返ったりしながら、食事の栄養バランスを考えました。授業の中で、『朝起きたとき、朝ご飯を食べたい』と考えることが一番。そのための生活リズムを自分でコントロールしてみようという言葉が印象的でした。

福井市国見小学校



子どもたちが地域の魅力を探求・体験しその魅力を発信する取組を行った。国見のイメージキャラクターをデザインしたTシャツを着用しPR活動をしてきた。海岸でシーグラスを拾い、国見の魅力を発信するパンフレットとともにシーグラスのキーホルダーを配布した。また、流木を集め、地元のアーティストを講師に迎え流木アートに挑戦した。流木アートは「galleryはりいしゃ」にて講師とのコラボ作品展にて公開した。

福井市鵜小学校

鵜地区では、地域ぐるみでコウノトリの保護活動が続いている。本校でも3年生が中心となり、総合的な学習「ふるさとのよさを発見しよう!」の「コウノトリプロジェクト」に取り組み、新聞やインターネットで調べ学習を行ってきた。今後は、調べたことを新聞形式にまとめ、その成果を1・2年生に発表する予定である。また、完成した新聞を校内に掲示して「コウノトリプロジェクト」の活動を鵜小学校全体に根付かせていきたい。



福井市森田小学校

モルックを購入させていただいた。高学年の学活とニュースポーツクラブで主に利用している。特に準備も必要ないので、すぐに活動に取り組むことができる。交代でモルック棒を投げ、投げたモルック棒の行方に一喜一憂している様子からも、モルックが運動の好き嫌いにかかわらず、誰でも楽しめるスポーツであることが分かった。友だちと自然に仲良く活動できるので、今後はより多くの学年や場面で使用できると考えている。



福井市日新小学校

本校は今年創立50周年を迎え、11月1日、記念式典、たてわり活動「日新わくわくフェス」等を実施した。「日新わくわくフェス」は、学年をといた異学年でのたてわり活動で、6年生がお化け屋敷やシャトルなどのお店をお店を企画し、当日はたてわり班で運営や遊びを行った。他学年に対す津いやりや協力を学び、学校の一員であることの自覚をもてた。



福井市清明小学校

低学年にApple TVがなく、説明のためにタブレットを使う場合、毎回コネクターをつけたHDMIケーブルを使う必要があり、手間がかかったことと、机間巡視をしながらの指導ができなかったため、Apple TVの導入は低学年の学習に大変有効であった。



福井市杜西小学校



6年生の総合的な学習の時間では「郷土の魅力を発信しよう」をテーマに学習を進めている。これまで、福井の「ひと・こと・もの」について調べてきた。現在、学習で得た学びを地区の人や地区外にも広める活動の一つとして、児童玄関にシンボル用看板設置を計画し、準備を進めている。児童一人一人が伝えたいことを選び、丁寧にデザイン画を作製した。今後は、コンパネに絵を写し取り完成を目指す。

福井市本郷小学校



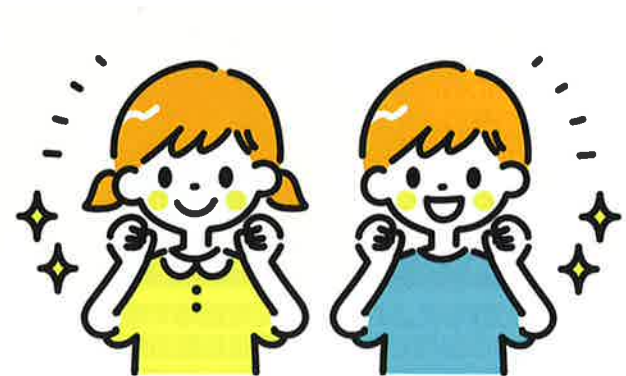
福井市下宇坂小学校



美山地区の3小学校と1中学校が集まり、各地区の魅力について探究学習を行いその成果を伝えたり更に考えを深めることを目標にした「美山サミット」を計画している。事前学習として、高学年の児童は福井放送の増谷寧々アナウンサーによる動画編集講座を受講した。さらに、美山の未来をテーマに保護者や地域の方々が参加したワークショップを行った。そこで出た課題に対して今自分たちができることを考え、発表する予定である。

福井市羽生小学校

校内体育大会に向け、専門講師奥井麻結氏による全3回のダンス教室を実施しました。曲は「PAZZUL」。歌詞の「夢の破片を集めて、パズルのように埋めていく」は、児童が思いを一つに力を合わせる姿と重なり、全校・学年・縦割り班で構成されたダンスは見応えがありました。講師から「チャレンジすることに意味がある」「失敗なんてない」という言葉を受け、児童は安心して表現することに挑戦しました。体育大会本番で披露しました。



福井市清水西小学校

「志津っ子グランプリ」の活動では、これまでに「大縄8の字大会」「校内体育大会」「読書コンテスト」などの学習活動の成果を点数化して競い合っている。1年生は、10月にこども園の園児と交流活動を行った。今後2月の「わくわく交流デー」に向け、準備を進めていく。月1回の「なかよし遊び」では、たてわり班で6年生が中心となって様々なゲームを行った。エコフロアマットは、「なかよし遊び」や体育の学習活動で活用した。



福井市清水南小学校

2年生は、町たんけんで、清水南地区の働いている人の仕事について調査し、実際に甕谷の西岡河村酒造と真栗の岩本繊維株式会社を見学した。2年生は、3年生に町たんけんを学んだことをランキングにして発表した。この学びを生かし、1・2年生でエンゼルランドに行き、エンゼルランドで働く人の仕事についても調べた。11月末には、6年生が清水南地区の歴史や施設について探検・調査する予定である。



福井市六条小学校



積極的に校外学習を取り入れ、教室では体験できない活動を通して児童に学ぶ楽しさやわかる喜びを実感してほしいと願っている。劇団四季「こころの劇場」を鑑賞して豊かな心を育んだり、美浜町エネルギー環境教育体験館「さいばす」を訪れて環境エネルギーについての理解を深めたりすることで次の学びへとつなげたい。これらの校外学習に際して、バス代や交通費、体験費の補助として教育文化活動助成金を活用させていた

福井市上文殊小学校



研究名「主体的に楽しく深く学ぶ子の育成～学習における課題や活動を工夫し、対話力の向上をめざした授業づくり～」

活動の概要 主体的な学び、深い学びの実現に向けて、学習における課題や活動を工夫し、児童が話し合いながら考えを深めることを重視した対話的な学びにつながる授業づくりを工夫する。また、視点を明確にした振り返りを行い、評価や次時の活動、対話力の向上につなげる。異学年や中学校区、地域等と交流し、児童がともに学んだり、学習成果を発信したりする活動を工夫する。

福井市進明中学校

本校、第1学年では「いざないプロジェクト～福井駅の利用者に進明校区の魅力を発信しよう～」をテーマに地域探究学習を行っています。多くの人を進明校区に「誘う」と福井弁の「いざ」をかけて命名しました。校区の公民館訪問で得た情報をヒントに9つの部門に分かれ、進明校区の魅力を再発見するために調査活動を行いました。今後、調査した内容をCMやパンフレットにまとめ、魅力を発信し、地域に多くの人をいざないます。



福井市光陽中学校

地域の人材や文化等を活用した総合的な学習をデザインする。各学年、テーマのもと、取組・成果についてまとめ、発表する。

1年生は県内の魅力を探るために、①坂井市・あわら市②大野市③越前市④敦賀市の4方面に分かれ、体験活動を実施した。2年生は生き方や将来について考える機会として、地域の協力のもと職場体験活動を行った。3年生は、修学旅行(東京)での学び、今後の福井についてのプレゼン大会を行った。



福井市藤島中学校

福井市と若狭町、小浜市を比較しながら、「ふるさと福井」の魅力を再発見する活動を行った。はじめに、若狭三方縄文博物館で縄文文化を学び、次に年縞博物館で水月湖の年縞を見学した。その後、熊川宿や瓜割の滝を訪れ、若狭地方の歴史・文化・自然への理解を深めた。午後からは、国立若狭湾青少年自然の家でカッター体験を行い、クラスの団結力を高めることができた。今後はレポートを作成し、発表会を行う予定である。



福井市足羽中学校



本校では、今年度の総合的な学習において、生徒一人ひとりの学びを語り合う場（学びを語らう会）を設け、先輩・後輩から学んだり自分の成長を実感させたりしている。自分の思い（おもい）を伝えることについて、国内外で活躍中の福井県出身のプレゼンテーションクリエイターである前田鎌利氏を招き、講演会を実施した。講演会では、前田氏自身の人生や生き方についての話もあり、キャリア教育としても意義深いものになった。

福井市森田中学校



本校では、有志の先生方により、教科の垣根を超えた「わくわく学びフェスタ」という講座が行われている。「シュシュを作ろう」では、布とゴムだけで、授業で学んだ裁縫の知識で作ることができた。「飛ばしてみよう〇〇」では、ドローンはどういう仕組みで飛んでいるのか等の説明を受けてからドローンの操作を体験した。ペットボトルロケットもどのような仕組みで飛ぶのかの説明を受けた後に自作し、自分たちで飛ばした。

福井市杉坂小中学校



授業や学校行事等で積極的にICTを活用している。授業では、児童生徒がタブレット端末を使って情報収集したり、大型モニターを使い、自分の考えを他者に説明したりしている。体育の授業では、ラグビーのゲームの様子を撮影し、ゲーム後にその動画を見ながらチームで作戦を立てることに利用している。学遊会（文化祭）では、児童生徒が学校生活を紹介するための動画作成や編集を行い、学遊会当日に多くの参観者に発表できた。

福井市杜中学校

本校では、学校や地域に誇りと愛着を持つ集団の育成を図りながら、生徒が自律し主体的に活動していく学校づくりを目指している。

また、「地域と歩む学校」を目指し、生徒会が中心となって、例年、年間約15件の地域活動に参加している。年間を通して多数の生徒が自主的に参加している。

その他、「ダンスのレッスン」や「剣道の授業」においても地域の方々からご指導をいただき、学びの充実につながっている。



永平寺町志比南小学校

生活科や総合的な学習の時間に「ふるさと教育」に取り組んでいます。地域の方々や専門家をお招きし、学校のすぐそばを流れる「さくら川」で水生生物の調査を行ったり、サクラマスの産卵床を整備したりするなど、地域の豊かな自然環境を生かした探究学習を進めています。今年度も、11月5日にサクラマスの遡上が確認されました。川をのぞき込み、歓声を上げる子どもたちの笑顔には、ふるさとを大切に思う心があふれていました。



永平寺町松岡小学校

本校では、ふるさと永平寺(松岡)のよさや魅力を見つけ発信するふるさと学習に系統的に取り組み、地域を素材に地域と関わりながら、主体的に探究学習を行っている。特に、5年生は「We love MATSUOKA! ～伝統を受け継ごう～」のテーマのもと、3つのグループ(葉っぱ寿司、松岡音頭、天龍太鼓)に別れ調べ、11月末の「ふるさと教育発表会」で、動画や資料を提示しながら他校の児童に松岡の魅力を紹介した。



永平寺町松岡中学校

今年度、美術部員がデザインしたロゴマークを付けたベストを着用してボランティア活動に参加しています。

10月末時点で参加延べ人数は170名。各イベントで地域の方から「本当にありがたい」との声を頂いています。また、参加した生徒からも「周りの人から感謝されて嬉しい」「参加して良かった」と感想を得ています。

松岡中学校におけるボランティア活動は「生徒の自己肯定感を高める活動」として欠かせないものです。



大野市有終南小学校



本校は「みんなで主役」を研究主題とし、授業や行事において探究的な学習に取り組んでいます。4年生は「地域もり上げ隊」として地域の商業施設を見学し、地域のために自分たちができることがないかを考えました。商業施設を盛り上げようと10月28日に自分たちが企画した6つの店を商業施設「Vio」で出店しました。また「ミニコンサート&ダンス」も披露し、たくさんの来客でにぎわい、地域活性化に貢献することができました。

大野市和泉小学校



和泉地区ならではの、ふるさと学習(WITH ME 学習)を推進しています。地区に伝わる「昇龍太鼓」に全校児童7名で取り組み、その練習の成果を、春には「九頭竜マルシェ」、秋には「敬老会」や「九頭竜紅葉まつり」などで地域の方や来場者に披露します。地域伝統の「穴馬かぶら」や「スイートコーン」なども栽培し、まつり等でPRすることで、和泉地区の宝を発信しています。今年も多くのお客さんに楽しんでもらえました。

大野市上庄小学校



関西大学三浦紋人氏の指導・監修のもと、ミミズごみコンポスト活動は昨年以上に充実しました。児童は地域の祭りで活動のPRを行いながら、自分たちが考案したミミズごみコンポストグッズを販売し、今後の活動の持続化に繋げようと試みました。4月からこれまでに約120kgのごみを処理し、約240kgのCO2削減につながっています。8月からは福井大学・酒井化学工業(株)の協力も得、コンポストカバーを改良しています。

勝山市立成器南小学校

11月21日(金)に行われる南の子発表会に向けて、各学年やクラブで準備を進めている。発表会では、一人ひとりが「人に伝える」ことを意識する。6年生では、10月の修学旅行で、大阪万博や清水寺、USJなどで体験したことや学んだことなどをまとめ、クイズと劇で発表する。ミュージッククラブでは、千と千尋の神隠しのテーマを、様々な楽器で演奏する。発表会は保護者、こども園の園児、学校運営協議会の委員が参観する。



勝山市立成器西小学校

本校ではポジティブ教育に取り組み、児童同士の絆を深め、自己肯定感を高めることを目指し様々な活動に取り組んでいる。大縄大会、運動会等の行事前に、児童は言葉かけや接し方について目標を立て、行事後に、「勇気」「感謝」「ゆるし」「思いやり」「喜び」の5つの観点で自分の頑張りを振り返る活動を行ってきた。振り返りは「西の子きらりの木」として児童玄関に掲示し、自分や友達の頑張りを認め、温かい絆を育んでいる。



勝山市立村岡小学校

1・2年：町探検で公共機関や企業を訪問し、地域理解につなげている。
3年：地域環境サークルの協力で赤とんぼの生態について学び、観察会を行って地域の自慢を見つけた。
4年：地区社協の協力で妊婦体験等を行い、福祉が充実した幸せなまちづくりについて考えている。
5年：J Aと連携した米作り体験を通して、食文化や自然について考えている。
6年：ミチノクフクジュソウ保全活動のまとめとして実践発表の準備をしている。



勝山市立鹿谷小学校



1、2年生は、ふるさとの宝を見つける活動として、町探検を行い、今まで知らなかった地域のことをより知ることができた。
3～5年生は、地域の方を講師に招き、鹿谷町特産の恐竜ひょうたん栽培や加工に取り組んだ。
6年生は、地域の方々へのインタビュー活動を通し、いろいろな視点での地域のよさについて学ぶことができた。
全学年ともに、学んだことを今後の学習発表会や町の雪まつりで紹介する予定である。

勝山市立北郷小学校



1、2年生は生活科の時間を中心に、校地内・校区内を活動範囲に、活動を進めている。
3年生以上は、総合的な学習の時間を中心に、課題を持つための活動から始まった。現地見学や専門の方による出前授業などを通して、知りたいことや調べたいことを1学期中にほぼほぼ持つことができた。
11月下旬開催の「実りの学習発表会」にて、これまで取り組んできたことを発表し情報交換することを目指している。

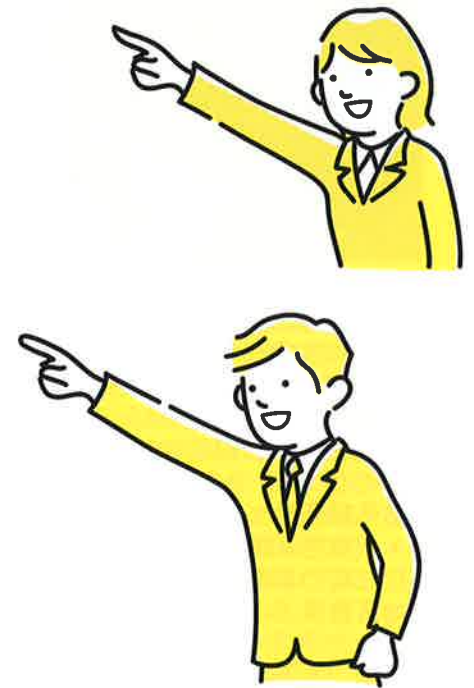
勝山市立勝山南部中学校

1年生は総合的な学習の時間のテーマを「起業をしよう!」とし、持続可能なふるさとを目指し、地域の産業に視点をあてつつ、勝山の活性化に必要な企業を考える。その一環として勝山市の企業が集まる「産業フェア」を見学し、実際に企業の話聞いた。また、今後は実際に起業した卒業生を招くことを計画している。2年生は、10月末に職場体験を実施し、金沢遠足の体験を踏まえ、12月に行う立志の集いにはプレゼン発表を行う。



勝山市立三室小学校

本校は小規模校の強みを生かして、全校で学ぶ「全校総合」の時間を設けている。その全校総合の時間は、「地域」「縄文」をテーマにして探究的な学習を続けている。
今年度は、市芸芸員より「縄文人はおしゃれだったか」についてご指導いただき、縄文人の生活について学んだ。ちょうどその頃、あわら市郷土歴史資料館にて「縄文ピアス」の展示がされていたことから、校外学習を計画し、バスを使って全校で資料館を訪れた。聴いて学ぶ研修から自分の目で確かめる学習へと場面展開を行うことができたことで、縄文人の知らなかった生活について発見することができた。
資料館では、発掘されたピアスや展示物を見たり、ピアス作りをしたりして、充実した学習の時間を過ごした。この学びを、秋に行われる「三室まつり」や「学習発表会」で発信していきたい。



あわら市本荘小学校

本荘地区の自然・歴史・文化の魅力を再発見し、子どもたちが自らの言葉と視点で発信する活動に取り組んでいます。
ICT機器を活用し、地域の風景や伝統行事等を撮影し、得られた情報や映像をもとに、プレゼンテーションアプリを使って発表資料を作成しています。作成した発表資料を大型モニターに映し出し、友達と意見交換しながら内容や表現方法を工夫・改善し、他学年や保護者、他校の児童に発信する準備を進めています。



あわら市金津小学校

ふるさと学習において、6年生があわらの魅力を発信するため、CM作りに取り組んでいます。魅力ある場所や施設を訪れて調査しながらCMに使用する材料を集めました。6年生のCMは、地域の文化祭で披露します。また、5年生は、市の観光課等と連携をとりながら、地域の各名所について資料にまとめ、QRコードを読み取れば誰でもその資料が見られるようにしました。今後は、グループごとに調べたことを発表していきます。



あわら市細呂木小学校



ふるさと学習の充実に向け、児童が主体的に課題を見つけ、対話しながら課題解決することを目指し、地域の自然・歴史・文化・産業に関わる学習に取り組んだ。
自然に関わる体験活動として吉崎めぐり（1・2年）、産業に関わる体験活動として柿の摘み・収穫・渋抜き体験（3年）、歴史・文化に関わる体験活動として、吉崎地区散策（4・5年）を実施した。
今後、地域発信に向けた学習を進めていく予定である。

あわら市金津東小学校



9月29日（火）、雲ひとつない快晴のもと、本校児童92名が4つの縦割り班にわかれ、校区の一部（劔岳地区）をウォークラリー形式で散策した。チェックポイントでは、お寺の住職から地域の昔話を聞いたり、地域で見ることのできる動植物に直接ふれあったりした。
児童が校区内に出向き、地域の歴史や自然について直接学ぶ活動をとおり「ふるさと」について理解を深め、愛着をもつことができた。

坂井市立鳴鹿小学校



5年生は地域の農業をテーマに田植え体験はサツマイモの苗植え体験などを行った。その体験をもとに、稲につく害虫や天然成分の殺虫剤などに興味を持ち、グループごとにテーマを決めて調べ活動を行っている。他の学年も地域の暮らしや歴史、産業など様々なテーマを決め、調べ活動や体験学習に取り組んでいる。今後は、秋に地域・保護者の方を招いて「まほろばフェスティバル」にて発表を行う予定である。

坂井市立春江小学校

学校と地域のつながりが希薄であることが課題とされてきたため、生活科・総合的な学習の時間を中心に地域学習を進めてきた。低学年では農作業のための講師を招聘して野菜や植物を育てるアドバイスをいただいている。高学年では福祉、防災、地域創生を柱に、企業や団体と連携して学びを深めている。6年生の学習発表には、児童と地域住民で合計1000名以上に来場していただいた。今後も助成金を有効に執行し学びを進めていく。



坂井市立春江西小学校

まちづくり協議会の方と畑作農業体験
1年生 サツマイモの苗植え
2年生 夏野菜の苗植えから収穫
3年生 大豆の種まき
5年生 田植え
6年生 ジャガイモの苗植えから収穫



各学年で栽培について指導を受けた。収穫後は採れた野菜を使った料理を作り、自分たちが育てた作物への感謝の心を育てることができた。総合的な学習の時間を使用し学習した内容をまとめ、他学年に向けた発表の準備をする予定である。

坂井市立丸岡南中学校



本活動は、地域の魅力や課題に主体的に向き合い、地域活性化に貢献する実践力を育むことを目的とした、全学年による縦割りの探究活動です。1年生は加賀・福井市、2年生は坂井・金沢市の企業を訪問し、3年生は東京方面への修学旅行を通して視野を広げました。今後は各活動で得た知見をスクエア総合（縦割り活動）で共有し、地元企業の方々からのアドバイスを受けながら、最終的には地域活性化の企画コンペに取り組む予定です。

鯖江市進徳小学校



鯖江市指定無形民俗文化財指定の盆踊り「やんしき踊り」の習得に力を入れている。保存協会の方々や連携し、総合的な学習の時間に型やかけ声を学ぶ。校内体育大会ではプログラムの最後に、全校児童や卒業生、保護者や地域の方々と一緒に踊った。
学校園での農業体験にも力を入れ、地元の名産「吉川なす」をはじめ、多くの野菜を育てている。地域のアグリにも協力いただき、地産地消の意識を高める活動になっている。

鯖江市神明小学校

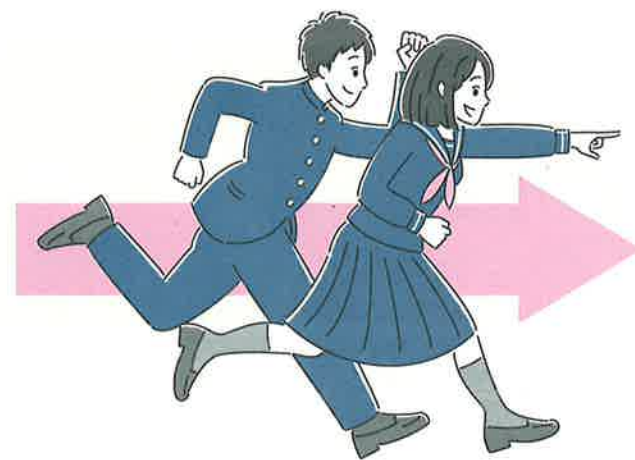


児童が本に親しみ、読書の楽しさを感じられるよう、読書カードの工夫や読書週間、ボランティアによる読み聞かせを行っている。12月には絵本作家サトシン氏を招き、人権をテーマにした絵本の読み聞かせとトークセッションを実施予定。保護者にも参加を呼びかけ、親子で本を通して人権について考える機会とする。絵本をきっかけに、思いやりや多様性の大切さを共有する場としたい。

鯖江市鯖江中学校

本年度より「鯖チャレ委員会」を新設し、生徒たちが設定したポイントをクラス対抗で獲得するチャレンジ、通称「鯖チャレ」で、盛り上がっている。その際、本事業で購入したラミネートを使って生徒が自作した「鯖シール」を作成し、配布している。

また、部活動単位でボランティアにも取り組んでいる。生徒が降雪時に「雪かきボランティア」を計画しており、本事業で雪かきスコップを購入してその活動の準備をしている。



鯖江市東陽中学校

3年生は、過疎化が進む自分たちのふるさと「東陽地区」を活性化するためのアイデアを探った。修学旅行先では東京上野公園でプレゼン等を行い、地域活性化へのアイデアを観光客や外国人に聞き取り等を行った。その結果をもとに地元の食材を使った商品開発を進め、秋には市長や市議会、公民館や企業の方々、地域の方を招待してカフェを開く形で発表し、地元の食材を使ったおにぎりやクレープの商品アイデアをプレゼンした。



越前町立宮崎小学校

「すすんで学び みんなとつくる」という教育目標の下、以下のような活動を行っている。

①地域に学び、地域に関わるふるさと学習

地域と関わりの深い学習(陶芸・たけのこ栽培等)を、各教科と関連付けて効果的に展開する。

②試行錯誤する場(機会)の保障

縦割り班活動等を通して新たなアイデアを出したり、これを実現したりしようとする力を育む。11月末には、全校児童が地域の方と防災学習に取り組む予定である。



越前町立織田小学校



織田小学校は、学校再編により来年度から萩野小学校と一つになります。その萩野小学校の、今は閉鎖されている箕松分校へ両校合同で歩いて訪問する「おしよりん登山」を実施しました。6年生では、地域の方を招いて織田地区を盛り上げる「明るい織田の未来つくろうプロジェクト」を立ち上げました。低学年では、サツマイモ栽培等を通して地域の「ボランティア先生」と触れ合いました。地域の方々と一緒にふるさと学習に取り組んでいます。

越前町立越前小学校



再編により校区が広がったこともあり、あらためて、越前地区について学習することで、ふるさと再発見を目指し取り組んでいる。①小中連携で、「越前水仙」の球根掘り。②全校でふるさとのお花「越前水仙」球根の植え付け。③海の問題環境に気づく浜清掃。④地区のこと教えて！町探検で、ふるさと再発見。これらの活動において、区長さん、越前町水仙部会の方々、越前町役場等、地域と共にふるさと学習を進めている。

越前町立宮崎中学校



体育の授業では、GOPROを用いてバレーボール等のプレーを撮影し、生徒自身がフォームや戦術を振り返ることで技能向上を図った。社会科ではイギリス革命を題材に寸劇を行い、その様子を撮影・視聴することで、歴史的背景や人物理解を深めた。映像を活用することで、生徒の主体的な学びと振り返りが促進され、授業の質の向上につながった。12月に来校するマレーシア生徒との国際交流授業に向け、活用方法を検討していく。

南越前町立南越前中学校

本校では、令和7年度の学校教育目標の具現化を図るため、年間を通して多様な教育活動を行っている。今回、活動助成を受け、2学年84名を対象に「命」をテーマとした学習会を実施した。生徒は「出産」を通して、命の尊さについて真剣に考え、自他の命を大切にしようとする意識を高めた。7月の実施により、夏季休業中のキャリアチャレンジとも関連づけて学びを深めることができた。12月には3年生にも学習会を実施する。



越前市武生南小学校

多様な児童が居心地の良い学校となるように、ポジティブ教育を推進し、インクルーシブ教育の視点から多様なニーズのある子供への支援の充実に取り組んできた。「ソーシャルスキルカルタ」や「性に関する指導セット」を活用し、楽しみながら自己理解や感情調整、共感力の伸長につなげることができた。また「多層指導モデルMIMさんすう」を活用し、数に課題を持つ児童のニーズを詳しく見極め、早期指導に結び付けることができた。



越前市大虫小学校



6年生は総合的な学習の時間に「大夢史～古代を学び、現在(いま)を拓き、未来を変える!～」をテーマに活動を行っています。1学期には「古代を学ぶ」ということで、文室鉦山跡地を見学しました。文室鉦山は室町時代以前に製鉄が行われた可能性のある場所です。6年生は倒木や大岩の間をくぐりながら壮大な鉦山跡を見学しました。2学期以降もふるさと古代や現代を学びながらSDGsの活動を進め、学んだことを全校に伝えていきます。

越前市坂口小学校



小学生と地域の方々と5月8日にもち米の田植え、5月22日にサツマイモの苗植え、7月2日に田んぼの除草をしました。どの活動も地域の方に教えていただきながら自然に触れ環境について考えることができました。中学生は8月14日に坂口地区納涼祭でゲームコーナーを担当、8月29日に坂口地区の野菜を「いきいき坂口ファーム」と題して市役所で販売しました。地区活性化のため生徒が地域と連携して主体的に活動できました。

越前市王子保小学校



中学校校区に小学校が1つという地区であり、中学卒業まで一緒に過ごす児童がほとんどである。相手のよいところを探したり伝えたりすることは、今更なのか恥ずかしがる傾向がある。これまで、相手に渡して終わりだったよいところ探しの手紙や用紙。いつでも見返せるようにポケットファイルを購入させていただいた。やはり、自分のよいところを教えてくれるのは嬉しいものである。時折、見返し、自分の良さを再認識している。

南越前町立湯尾小学校

3年生の総合的な学習において、子どもたちが「わくわく」しながら取り組むことを期待して、「湯尾峠」に関するプロジェクト学習を計画した。まずは、教育委員会の学芸員の方を講師に招き、湯尾峠を訪れて、「瘧瘧の神を祀る孫嫡子神社」「厄除けのお札を配布していた茶屋」「孫嫡子信仰の由来を聞いた松尾芭蕉の句」などの話を聞いた。それらを劇に仕上げ、学習発表会で発表した。今後、「厄除けのお札の作り方」を調査する。



南越前町立河野小学校

中学年では、地域の魅力を発信するために町内の施設や特産物の調査を進めてきた。梅の収穫体験、そば道場の見学、温泉施設の訪問を通し、ふるさとの魅力を再認識するとともに収穫の喜びを感じていた。11月末にはへき地校同士の交流を深めるため東浦小を訪問する予定となっている。

高学年の福祉学習では、障がい者スポーツ体験や盲導犬体験活動から福祉の大切さを実感できた。今後は、高齢者施設訪問を計画している。



越前市北新庄小学校

学校近くの田んぼを借りて米作りに取り組む5年生は、豊作を願って「虫送り」の儀式を行いました。和太鼓の音や声で虫を驚かせ、うちわで吹き飛ばし、松明の火で虫を追い払いました。虫送り囃子をリコーダーで演奏し、かかし「顔晴(がんばる)パンダくん」を立てて実りを祈りました。その効果もあり、今年は例年より多くの米が収穫できました。収穫した米は、家庭科で調理して味わったり、地区文化祭で販売したりしました。



越前市味真野小学校

クラブで、タブレットを使ったお絵かきを行った。普段はペン先が太くウレタンのもので使っているため使い勝手が悪かったが、ペン先が細い本格的なタッチペンを使用することで、「細かい部分まで描きやすい」「これからはこれを授業でも使いたい」と児童は使いやすさを強く感じていたようだ。今後はプレゼンの共同制作や発表に使用することで、より使用感を高め、身近に操作ができるように技能の上達を支援していきたい。



越前市万葉中学校

研究テーマ「開校30周年 これからもふるさとに愛され続ける 万葉中を創ろう」のもと、文化祭での壁画コンクールでは、どの学級も30周年を意識した壁画の制作を行った。どの壁画にも「30」の文字が彩られ、万葉中を愛する心を養うことができた。また、ふるさとの歴史や伝統を調べる活動として、大滝神社の見学や紙漉き体験などを行った。越前和紙が越前市に昔から伝わる伝統産業であることなど深く学ぶことができた。



越前市武生第一中学校

校区内の各地区文化祭や小学校のPTA行事等に出向き、パンの販売を行いました。パンは地元の販売店の協力を得て、学校のオリジナル商品を開発し、当日、来場者に販売しました。生徒たちは販売ブースの設営、呼び込み、商品の受渡しなどを行いました。地域の方々との交流を通して、地元への愛着や地域に貢献する充実感をふくらませていました。用意したパン100個が2時間足らずで、完売するほどの売れ行きでした。



越前市武生第二中学校



古代米である黒米を地域に伝わる伝統的な手法で田植え、栽培し収穫した。収穫した黒米を地区の文化祭で販売し好評を得た。今後、黒米を用いて、地域の方や地区の公民館、保護者の方々の協力を得ながら、昔ながらの手法で餅つきをし、感謝の意味を込めて、参加した全員の方々に振る舞うことにした。地域の方々と一緒に作業することを通して、地域の中の一員として自己有用感を持ち続けながら生活をする生徒の育成を図る。

越前市武生第六中学校



①大菊栽培
地区の菊名人の指導のもと、3年生が大菊を育て、10月末に少しずつ花が咲いてきた。それらの作品を、たけふ菊人形の会場や公民館、近隣のこども園などに展示している。半年にわたって心を込めて栽培してきた大菊が花を咲かせると、感慨深い表情をしている生徒も見られた。

②職場体験活動
2年生が校区内の事業所を中心に、実際に労働を体験させていただいた。徒歩で通えない事業所への送迎をタクシーで行った。事前学習でも事前学習を十分にを行ったが、実際に肌で感じることでできたことは、大変貴重な経験となった。この体験を生かし、さらにキャリア学習を深めていく計画をしている。

敦賀市立敦賀西小学校



10月28日(火)、4年生が小浜市に出かけ、伝統的な産業や歴史的な文化について学習しました。御食国若狭おばま食文化館では、福井県の伝統工芸である箸研ぎ体験や紙すき体験を通して、伝統工芸の魅力を感じることができました。明通寺では、国宝である本堂や三重の塔、仏像などを見学し、歴史遺産について理解を深めることができました。体験の後には足湯にも入り、有意義で楽しい校外学習となりました。

小浜市立雲浜小学校

鯖街道を実際に歩いたり調べたりすることを通して、古くからの小浜と京都・奈良との結びつきを知り、ふるさと小浜を誇りに思う気持ちを育てる活動を行った。6年生は、5年生時に自分たちで作った鯖のへしこを、鯖街道を踏破して京都の商店街に送り届けた。また、調べたことや体験したことをもとにPR活動用の資料を作成し、修学旅行先の奈良で観光客に向けPR活動を行った。



小浜市立西津小学校

5年生の総合的な学習の時間では、「西津の海を生かそう!」をテーマに「塩づくり」にチャレンジしました。できあがった塩は8月に開催された大相撲福井巡業で横綱大の里をはじめ3役以降の力士の皆さんに清めの塩として使用していただき、児童が作った塩であることがアナウンスされると会場からはどよめきと大きな拍手が渦巻きました。地域の一員として西津の良さをたくさんの人に知ってもらえる素晴らしい機会をいただきました。



小浜市立加斗小学校



1・2年生は、地域の方にお世話になり、野菜を栽培した。秋には、収穫したさつまいもで保育園の園児と一緒にやきいもを行った。

3・4年生は、海浜自然センターの方にお世話になり、海岸での海ごみ回収や生き物調査を行った。地域の海の環境を守ることに考えた。

5・6年生は、学校林や無人島「蒼島」を題材に探究活動を行った。地域の方や専門家にお世話になり、混交林化に向けた植樹や植生の調査を行った。

小浜市立小浜美郷小学校



美化委員会を中心としプランターによる花の栽培を行い設置してきた。今後は、総合的な学習でお世話になっている関係施設へお礼等への活用に検討していきたい。また環境整備として広大な芝生広場を維持していくために、燃料(ガソリン、混合油等)を購入し除草した。今後は、総合的な学習活動におけるCM作成(5、6年生、特別支援学級が中心)等の素材を生み出していくために必要な活動費や材料費として活用していく予定である。

小浜市立小浜中学校



「誰かを笑顔に」を目標に、小浜の伝統文化や環境、SDGsに関する課題を探究する活動を行っている。「文化・観光」「食・産業」「自然・環境」「健康・福祉」の4カテゴリで縦割りグループを編成し、上級生から下級生へ探究の手法や学びが継承されるようにしている。生徒は地域で調査したり地域の方に助言を受けたりしながら探究活動を進めている。廃棄する魚の骨でせんべいを製造し販売するなど、具体的な成果も出ている。

小浜市立内外海小学校

内外海は全14地区が海に面しており、素晴らしい自然、文化、そして人々との深いつながりがある。こうした地域の恵まれた環境と資源を総合的な学習の時間を中心に各教科とつなげて学びを進めており、子ども達はふるさとを誇りに思い、他では得難い豊かな学びと体験となっている。シーカヤックやサップ体験、遠泳、鯖街道踏破、海ゴミ再利用等、他の小学校や中高とも連携をとりながらの地域とともにある充実した探究を進めている。



小浜市立小浜小学校

小浜地区まちづくり協議会、地域の方々にご協力いただき、4年生以上が海チャレンジ(遠泳)を行った。今年度も本校の卒業生からボランティアを募り、遠泳経験者と一緒に



海にチャレンジした児童。当日は、低学年児童が作成した応援旗や児童の応援の声、たくさんの地域ボランティア、保護者、地元水泳協会、福井県立大学小浜キャンパスライフセーバの方々が見守ってくださる中、各学年の目標距離を完泳することができた。

美浜町立美浜西小学校

美浜西小学校では、ふるさと美浜元気プロジェクトの一環として、地域探究を行っている。10月17日には、美浜町の獣害の状況を知るために町内新庄地区に出向き、デジタルカメラを使用して獣害の様子や動物の糞などの写真を撮ったり、獣害対策などのレクチャーを受けたりした。今後も児童が町の課題の現状をデジカメで記録していくとともに、それらの課題を解決するためのアイデアを1月のみはま元気フォーラムでプレゼンする。



美浜町立美浜東小学校

住宅地図作成会社に依頼し、「美浜東小学校校下全図」を作成して各階に掲示した。本校では、総合的な学習の時間を中心に、校区の素敵な人・もの・場所などを発見し、その魅力や課題を地域の中で探究的に学習している。「校下全図」は住宅地図を基本としていることから、校区のどこに何があるのかを容易に把握でき、東小学校と活動場所の位置関係を容易に把握できることにつながっている。また、行程の安全確認にも利用している。



美浜町立美浜中学校

本校活動の記録に
関しては、過去デジ
タルカメラを活用し
ていたが、機能低下
のため最近では各教
員が持つ携帯電話の
使用を了承せざるを
得ない状況であった。
しかしここ最近の風
潮により、携帯電話の
使用が禁止される可
能性が出てきた。本
校にはデータ記録の
ための機器が十分に
ないため、禁止化が
進めばデータ記録手
段が限られる。



本校の働き方改革を円滑に進めていくため、ICT 機器と連携ができるデジタルカメラを購入した。

高浜町立内浦小中学校

探究的な学習においては、各グループ設定した課題を解決するため様々な活動を行った。特に内浦地域で自ら育てた薬草や紫蘇を収穫し、地域住民の健康に寄与するためメニュー開発を行った。地域の方と共に新しい取組を行う際には自分たちの考えを発信し対話を行いながら課題解決に向けて実践を続けた。また、地域の特性より多様な人との関りが少ないため、意図的に他校とオンライン交流を行い、意見交換などを行った。



若狹町立梅の里小学校



地域の宝である三方五湖、海、梅やレモン畑の恵みを存分に味わい、様々な方々と関わりながら目を輝かせて体験・探究学習に取り組む子どもたち。専門家のお話を聞いて、問いや試行錯誤、振り返りを大切に体験を重ね、探究心を高めています。生き物図鑑、S-1グランプリ（給食で提供するサワラオリジナルメニュー）の資料作成、学習の振り返り等、助成金で利用している「ロイロノート」は、本校に欠かせないツールとなっています。

若狹町立鳥羽小学校



本校は自然に恵まれ、人々との結びつきも温かい、古き良き日本の地域の典型と言える。その故郷の自然、人、文化、未来などにスポットを当てて、3年～6年、それぞれの学年が探究活動を進めていくのが「鳥羽っ子学習」である。9月より、児童用タブレットがipadに変更となり、さらにインタビュウの様子や、学びの足跡が確認しやすくなっている。今回購入させていただいたappleTVで学びの発信・共有がすすめられている。

若狭町立上中小学校



今年度の学校再編により開校した本校は、新しくなった校区の魅力や地域文化を再発見するために、地域学習および地域人材との交流を積極的に行い、自分たちのふるさとへの愛着を育てている。

その一つとして、地域の美術家の方を招き、日本画制作や臨床アートプログラムに取り組んだ。普段はできない活動を体験できただけでなく、地域の方々とのふれあいを通して、より深い学びを得ることができた実感している。

福井県立高志中学校

開学から10年以上が経過し、劣化してきた大きめのホワイトボードを新調しました。本校の要となる学校設定科目「高志学」をはじめ、各教科や各行事などにおいて、意見の整理や発表準備、話し合いのまとめなどに幅広く活用しています。タブレットとの併用により、発想を共有しながら思考を深め、協働的に課題を解決する力を育て、自ら学び、共に高め合う高志中学校らしい探究的な学びにつながっています。



福井県立勝山高等学校

太鼓を通じて全生徒が伝統行事に触れ、継承する活動を進めています。勝山は左義長太鼓が有名で、太鼓を叩く生徒も多く、太鼓を準備し、講師を定期的に招いて指導を受ける機会を設けています。地域の方にも活動を知っていただけるように訪問演奏を実施しています。今年度はオープンスクールで中学生対象の太鼓体験を実施しました。今後も演奏機会を重ね、活動をさらに広げていきます。



福井県立丹生高等学校

本校は、丹生高校や越前町の良さ（魅力）・課題を発見し、発見したことを校外、町外、県外に発信し、世代を超えてつながることに挑戦している。今年度は、高2生徒や管理職が町内4中学校に丹生高校や中高一貫教育の説明に出向いたり、あさひまつり実行委員の方が、本校生徒にまつりの企画・運営ボランティアの説明に来たりした際にスクリーンを活用した。校内での、特別授業や探究活動ミニ発表会においても、利用している。



福井県立武生商工高等学校



- ・セブンイレブンと提携し、販売促進活動を越前市内の4店舗に分かれて実施した。移動する際のレンタカー代や試供品の購入、広告作りのためのマジック等購入した。セブンイレブンの担当者から講義を受け、活動に生かしている。
- ・来年3月開業予定のハピラインふくい「しきぶ駅」に設置する「しきぶ駅周辺マップ」の製作に取り組んでいる。現在、イラストレーターの方からアドバイスをいただきながら、画用紙に絵をおこしている。

福井県立福井商業高等学校



商業科の授業でVR機器「Meta Quest」を試験導入しました。現在は基本操作や体験型コンテンツを通じて、生徒が仮想空間に慣れる段階です。今後は、仮想店舗での販売シミュレーションやマーケティング体験、価格設定の探究活動など、商業科の学びに直結する授業を計画しています。VRを活用し、実践的で臨場感のある学習環境を目指します。

福井県立坂井高等学校



3年生の課題研究の週3時間の授業時間において実施（学科・企業連携）

1 あわらレンコンデザイン作成
あわらグリーンファームさんより、デザインの依頼を受け作成する。

10月19日の越前マルシェにて販売実習も実施

2 Tシャツデザイン作成
国際交流イベントワールドユースミーティング（参加1000人）
海外8か国（台湾、韓国など）
坂井高校は全体のTシャツ作成、販売など実施

福井県立福井東特別支援学校

地域の農家の方を講師に招き、高等部の作業学習の時間に、土づくりや作物の定植後の管理、収穫の際の注意点について学ぶことができました。TRETASでの販売も計画しているので、消費者が喜ぶ商品とはどのようなものか、生産者が工夫できることは何かアドバイスも頂きました。また全校で、講師と一緒にサツマイモを定植し、収穫までを体験することができました。



福井県立清水特別支援学校

小学部・中学部・高等部合同で夏祭りを行いました。プールやミストシャワー、スプラッシュプレイマットなどの水遊びコーナーやバブルガンで遊ぶシャボン玉コーナー、カプセルくじが引けるお店などを設定して全校で楽しみました。暑さ対策としてワンアクションタープ（簡易テント）を用いたり、虫よけに防虫ネットを張ったりして環境を整えることもできました。昼食には、パスタマシーンで作ったうどんを食べました。



「学校応援キャンペーン」学校賞 当選校

令和7年6月1日から8月31日までの約3ヶ月に亘り実施しました「学校応援キャンペーン」で、多くの学校管理職の皆さまからご応募いただきありがとうございました。

アンケートにお答えいただいた学校の中から、厳正なる抽選の結果、学校賞を贈呈する27校が決定しましたのでお知らせいたします。

また、校長・教頭・事務長(職)の3人にご応募いただいた学校(140校・園)には福井支部賞を贈呈させていただきました。

○福井市進明中学校	当選賞品	学校用ワンタッチタープテント
○鯖江市進徳小学校	当選賞品	学校用ワンタッチタープテント
○美浜町立美浜中学校	当選賞品	学校用ワンタッチタープテント
○福井県立丸岡高等学校	当選賞品	バーチャル電子黒板
○福井県立奥越明成高等学校	当選賞品	バッテリーステーション
○鯖江市鳥羽小学校	当選賞品	バッテリーステーション
○名田庄こども園	当選賞品	バッテリーステーション
○福井市六条こども園	当選賞品	バッテリーステーション
○福井市明倫中学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○福井市明道中学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○福井市国見中学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○福井市社南小学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○福井市安居小学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○福井市至民中学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○福井市上文殊小学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○福井県立高志高等学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○勝山市立勝山中部中学校	当選商品	黒球式熱中症計
○福井県立金津高等学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○越前市万葉中学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○越前市南中山小学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○おい町立名田庄小学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○あわら市芦原中学校	当選賞品	黒球式熱中症計
○福井市みやまこども園	当選賞品	黒球式熱中症計
○福井市日新小学校	当選賞品	高圧洗浄機
○福井県立南越特別支援学校	当選賞品	高圧洗浄機
○若狭町立上中中学校	当選賞品	高圧洗浄機
○坂井市立三国西小学校	当選賞品	高圧洗浄機
○福井支部賞	当選賞品	コピー用紙

令和8年度 日教弘福井支部事業計画

事業名		対象	募集・申請期間	給付時期	助成内容	備考	
教育振興事業	奨学事業	貸与奨学金	本年度大学・短大等に入学された生徒（在籍者も可能）：13名程度	4月1日～5月31日	8月下旬～	最大100万円 （1学年25万円）	無利子貸与
		給付奨学金	中学3年に在学中で学習意欲があり、次年度高校進学を希望する生徒で、学校長が推薦する生徒：42名	10月上旬～11月末	翌年4月上旬	8万円	返還不要
		大学給付奨学生	高等学校・特別支援学校・高等専門学校3年に在学し、修学意欲があり、次年度大学進学を希望する生徒で、校長が推薦する生徒（各校1名まで）：4名	8月1日～9月30日	翌年5月～	月額3万円 （4年間）	返還不要
	教育研究助成事業	教育研究団体助成	県内の幅広く有益な教育研究を行う団体 ※校長会・教頭会等の団体、小・中・高の教育研究団体等	4月1日～5月31日	7月中旬	10～15万円以内	申請書、役員名簿、成果報告書、会計報告書が必要
		教育研究大会助成	県内を会場とした県、東海・北陸、全国の研究大会を開催する教育研究団体	仮受付：～1月31日 本受付：4/1～5/31	7月中旬	5～20万円以内	申請書、役員名簿、成果報告書、会計報告書が必要
		教育研修助成	教職員の資質向上を図ることを目的に実施する校内研修会等の運営 ※経費・研修図書等の費用を補助 今年度は、中学校・高校・特別支援学校	6月1日～6月30日	7月下旬～	3～4万円以内	申請書、成果報告書、会計報告書が必要
		特別支援学校教育支援	国・県立特別支援学校：6校 ※教育文化活動助成との併用不可	4月1日～6月30日	7月下旬～	5万円以内	申請書、成果報告書、会計報告書が必要
	教育文化事業	教育実践研究論文の募集	①学校部門 ②個人部門 各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者個人及び研究グループ等	4月上旬～10月中旬	3月下旬	入賞 3万円 最高 50万円	学校・個人の中から3編を本部に推薦 ※支部奨励あり
		教育図書贈呈	県内の小・中・高・特支校・国公立幼稚園・公立認定こども園に教育図書の贈呈 ※今年度は、中学・高校・特支・国公立幼稚園・公立認定こども園	5月1日～5月31日	7月～	1～5万円以内	教育図書選定基本もくろくから本を選択、成果報告書が必要
		教育文化活動助成	創造的で特色ある教育文化活動を行っている、小学校・中学校・高校・特別支援学校：70校 ※へき地、特支教育支援との併用及び前年度助成を受けた学校の申請は不可	4月1日～6月30日	7月下旬～	8万円以内	申請書、中間報告書、成果報告書、会計報告書が必要
へき地・複式学校教育支援		準へき地・複式学級に指定された学校：20校 ※教育文化活動助成との併用不可	4月1日～6月30日	7月下旬～	5万円以内	申請書、成果報告書、会計報告書が必要	
福祉事業	福祉事業	文化芸術スポーツの振興	児童生徒の教育文化・芸術・スポーツの振興をめざす各種大会・イベント企画・運営等を支援 ※北陸大会以上	仮受付：～1月31日 本受付：4/1～5/31	7月中旬	5～20万円以内	申請書、役員名簿、成果報告書、会計報告書が必要
		宿泊補助	日教弘の指定宿泊施設を利用する会員とその家族	ご利用の7日前まで	随時	会員 3,000円 家族 2,000円	自分で予約した場合に限る（年間4泊）
		結婚祝金	ご結婚された会員	随時	随時	7,000円 ギフト券	申請はご結婚1年以内
		出産祝金	お子様が誕生した会員	随時	随時	7,000円 ギフト券	申請はご出産1年以内
		小学校入学祝金	お子様が小学校に入学した会員	随時	随時	7,000円 ギフト券	申請はご入学年度内のみ
		高等学校入学祝金	お子様が高等学校に入学した会員	随時	随時	5,000円・7,000円 ギフト券	申請はご入学年度のみ 加入口数・年数によって祝金額が異なる
		銀婚祝金	教弘保険の継続が10年以上で銀婚式を迎えられた会員	9月1日～9月30日	11月中旬～	加贈ギフト	加入口数・年数によって祝金額が異なる
		満30歳健康祝金	年度内に満30歳を迎えられる会員	申請不要	上期：8月 下期：2月	5,000円 加贈ギフト	
		満45歳健康祝金	年度内に満45歳を迎えられる会員	申請不要	上期：8月 下期：2月	5,000円 加贈ギフト	
		映画鑑賞会	【映画鑑賞会】 退職会員とその同伴者1名 【映画招待券】 現職会員	開催時期に合わせ別途案内 利用可能期間に合わせ別途案内	開催の2週間前 利用可能期間に合わせ随時	ペアで250組500名 2枚1組を100組200枚	申込が必要 ※応募多数の場合は抽選 申込が必要 ※応募多数の場合は抽選
健康増進補助 （人間・脳ドック受診）	人間ドック・脳ドックを受診された51歳以上の会員 ※定年齢ドック・定期健診・健康診断は除く	受診後2ヶ月以内	申請日から2ヶ月以内	5,000円	申請書、領収書の写しが必要		
国内研修旅行	退職会員	時期：5月上旬に案内送付 先行：（企画中） 助成：2万円					
福祉関連事業	福祉関連事業	新採用御祝	新採用教職員全員	4月～6月	4月上旬～	数点の中から選ぶ	シブラルタ生命保険の学校担当者がご案内
		日教弘クラブオフ入会ありがとうございますプレゼント	新規日教弘クラブオフ入会者	申請不要	随時	お楽しみグッズ	シブラルタ生命保険の学校担当者が持参
		新規加入記念品	新規加入者	随時	随時	A4バインダー	シブラルタ生命保険の学校担当者が持参
		校長昇任御祝	校長昇任者	申請不要	4月～6月	高級ボールペン	参事・役員が持参
		教頭昇任御祝	教頭昇任者	申請不要	4月～6月	名刺入れ	参事・役員が持参
		退職記念品	教弘保険、又は教弘付属保険に加入の退職予定者	申請不要	随時	今治タオルセット	シブラルタ生命保険の学校担当者が持参
		継続記念品	ユース教弘保険満了時に新教弘保険へ移行継続された会員	随時	随時	クリップファイル	シブラルタ生命保険の学校担当者が持参
			教弘保険に令和3年度加入し、継続5年を終えられ、今年度6年目に入る会員	申請不要	上期：8月 下期：2月	若狭塗箸	シブラルタ生命保険の学校担当者が持参
			教弘保険に平成28年度加入し、継続10年を終えられ、今年度11年目に入る会員	申請不要	上期：8月 下期：2月	若狭塗箸	シブラルタ生命保険の学校担当者が持参
			退職時に教弘保険を継続された会員	申請不要	8月下旬	若狭牛A-5ランク	自宅に直送
			新教弘保険A型等の65歳満了時に新教弘保険K型に移行継続された会員	随時	随時	デジタル体温計	シブラルタ生命保険の学校担当者が持参
		おたのしみプレゼント	（新規）80歳の満期を迎えるまで教弘保険をご愛顧いただいた方	随時	随時	記念品	自宅に直送
			全教職員（クイズ&アンケート）	7月中旬締切	10月中旬～	豪華賞品	年1回

100 ドリーム・スクール・キャラバン

今年度、ドリーム・スクール・キャラバンを若狭町立みそみ小学校・坂井市立春江小学校で開催いたしました。(ジブラルタ生命主催) ご参加いただきましてありがとうございました。

✓ 若狭町立みそみ小学校



✓ 坂井市立春江小学校



(公財)日本教育公務員弘済会福井支部 福祉事業



人生100年時代、今から始める マネープラン教室

参加費
無料

▶ 今は忙しいけれど、リタイアメントライフは豊かに楽しく過ごしたい。そんな皆様の将来を裏切るものとするために、今から出来ることをわかりやすくご説明します。

所要時間：1時間程度



主な内容

- ずっと楽しみたいこと…これから楽しみたいこと…
- 老後は2,000万円あれば足りる?
- リタイアメントライフの収支
- リタイアメントライフの資金準備のポイント
- どのように積み立てて、どのように取り崩すか?
- 医療や介護が心配なのは何歳から?
- 不測の事態に備える

セミナーを受講された方の声

- ・まるでテレビのニュース番組のような資料と説明だったため、とても分かりやすかったです。
- ・資産運用の例やNISAとiDeCoの特徴が具体的に分かりました。
- ・インフレによる将来のお金の価値の変化について、これ程までか、と衝撃でした。
- ・この先の時間と、資産の活用について家族で考える良い機会になりました。
- ・お金の出口まで見据えてリスクをどう分散して資産を育てるか?先が見通せない分さらに理解を深めたいと考えるきっかけとなりました。

※当セミナーは公正中立な立場から情報を提供するもので、セミナー中に個別商品のご案内やセールスは行いません。

(公財)日本教育公務員弘済会福井支部 福祉事業

教職員の皆様へ **これだけは知っておきたい****年金 早わかり講座**

安心で豊かな人生のために

(2025年6月改訂)

▶ こんな教職員の皆様には是非受講をおすすめします!

- ✓ お忙しくて、自分で調べたり各種セミナーに出掛けるような時間がない方
- ✓ 年金について自分で調べても情報が少なく困っている方
- ✓ 「私はまだ若いから年金はまだ先の事だね。」と思っておられる方
- ✓ 新任の教職員の方など年金について、あまりご存知ない方
- ✓ 老後の必要生活資金に関心がある方、気になっている方

▶ 教職員の皆様だけにご用意した特別な講座です!

- 学校単位で開催できます
- 30分程度の時間なので、お忙しい皆様にピッタリです
- 中立公平な立場での情報提供スタイルの講座です

* 講座の中で個別の商品解説やセールスを行うものではありません。

受講希望番号	セミナー名	所要時間
1	マネープラン教室	60分
2	教職員用年金早わかり講座	30分～60分

FAXで申込み下さい。申込み先：(公財)日教弘福井支部(担当：竹原)
 ※セミナー担当は、共済事業(提携保険事業)提携会社ジブラルタ生命保険(株)がご提供いたします。

FAX 0776-23-1828 TEL 0776-23-4433

学校名		
ご担当者		受講希望 番号
ご連絡先	TEL	
第1希望日時	令和 年 月 日 時間帯 時～ 時	
第2希望日時	令和 年 月 日 時間帯 時～ 時	

**映画鑑賞券プレゼント
キャンペーン**

抽選でプレゼント

(公財)日教弘福井支部

映画招待券について

- ①今年(令和8年)12月31日まで有効
- ②ペアで100組(合計200名)にプレゼント
- ③会場を選択して鑑賞

(A) テアトルサンク(福井) or (B) アレックスシネマ(鯖江・敦賀)

※鑑賞券の枚数には限りがあり、ご希望に添えない場合もあります。

テアトル サンク

alex cinemas
アレックスシネマ**応募について**

- ④対象者：現職(61歳以下)で
「教弘保険」に加入しておられる方

- ⑤方 法：右のQRコードから応募

- ⑥期 間：令和8年1月19日～2月6日

※兼務の方は、本務校でご応募ください。

当選は、ジブラルタ生命の学校担当者が本人様に報告します。

〈個人情報の取り扱いについて〉 このキャンペーンで取得した個人情報は、(公財)日教弘の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)に則り、映画招待券のお届け以外の目的には利用しません。参照：(公財)日教弘のHP (<https://www.nikkyoko.or.jp>)

「教弘保険」の福祉事業について
 教弘保険に加入されている教職員の皆さまは、本支部の福祉事業をご利用いただけます。今回のプレゼントの他に、どのような事業があるかご存じでしょうか？
 例えば
 ◆年間4泊まで利用できる宿泊補助 ◆健康増進補助(人間ドック等)
 ◆キャリアに応じた祝金 ◆「日教弘クラブオフ」の利用 他
 充実した内容が用意されています。
 詳しくは、ジブラルタ生命の学校担当者にお聞きください。



フォーム内

●教弘保険加入の有無

※応募の条件確認

●学校名・所属名

※正式名を記入

●氏名

●職員番号(お持ちの方)

※半角で記入

●会場選択

※(A) or (B) を選択

連絡先：TEL：0776-23-4433

令和8年度 貸与奨学生募集



大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程に在籍または入学が決定している
学生に奨学金を貸与します



- 募集人数 : 13名程度
- 貸与金額 : 修学年度1年につき25万円。最大100万円を無利息で一括貸与
- 募集期間 : 令和8年4月1日～令和8年5月31日
- 返還方法 : 卒業した年の12月から5年(100万円の場合は10年以内)で年賦返済
- 申請方法 : 福井支部までお電話にてお申込みください。手続きについてご案内いたします。
※申請時提出書類: 奨学生申請書、付属調査票、連帯保証人の収入証明書、在学証明書
※内定後提出書類: 奨学金借用証書、連帯保証人の印鑑登録証明、誓約書
- 備考 : 福井支部教育振興事業選考委員会にて選考後、6月中旬頃に結果を通知いたします。
- 問い合わせ先 : 公益財団法人日本教育公務員弘済会福井支部 奨学金担当 TEL: 0776-23-4433

令和8年3月末ご退職予定の皆様へ

12月6日に嶺北会場・嶺南会場にて、福井県学校生活協同組合様と合同で開催いたしました、退職予定者説明会にご参加いただき、ありがとうございました。

この説明会でもご説明させていただきましたが、退職後は教弘保険の保険料が給与引去りできなくなりますので、福井銀行の口座振替に変更手続きをしていただく必要がございます。

手続きの方法については、共済事業提携会社のジブラルタ生命の学校担当者がご案内をさせていただきます。

**ご退職後も豊かで安定した生活を送るためには、万が一に備えての保険は必要です。
ご退職後もぜひご継続ください。**

また、教弘保険の新たなご加入は60歳以下の現職者のみです。未加入の方はご加入を検討される**最後のチャンス**です！！

※現職であっても保険年齢が60歳6か月を超える方は加入できません。



編集・発行 公益財団法人 日本教育公務員弘済会福井支部
株式会社 福井教弘

〒910-0005 福井市大手 2-22-28 教育センター 3 階
TEL: 0776-23-4433 FAX: 0776-23-1828
メールアドレス fukui@nikkyoko.or.jp



↓↓ 各種申請書はこちらから ↓↓

日教弘福井支部

検索